

## 機 器 等 一 覧 表

(注)「設置年月」「摘要」欄は製造許可申請の場合は記載しない。

(変更許可申請の場合は設置年月を記載し、「摘要」欄については撤去、移設、増設、改造等を記載する。)

(塔・貯槽)

機器番号	機器名称	主要寸法(mm) (D×L、D×H)	内容積 (m³)	材質		使用肉厚(mm)		必要肉厚(mm)		流体名	圧力(MPa)		温度(°C)		高圧ガス・ガス設備の区分	耐震設計有無	保温保冷有無	※1備考	設置年月	摘要
				胴	鏡	胴	鏡	胴	鏡		設計	常用	設計	常用						

※1 特定設備検査を受検する場合は、例えば「特定設備（毒）受検」と記載する。

(熱交換機・加熱炉等)

機器番号	機器名称	主要寸法(mm) (D×L、D×H)	区分	内容積 (m³)	材質	使用肉厚 (mm)	必要肉厚 (mm)	流体名	圧力(MPa)		温度(°C)		高圧ガス・ガス設備の区分	耐震設計有無	保温保冷有無	※1備考	設置年月	摘要
									設計	常用	設計	常用						
			S															
			T															

(ポンプ・圧縮機)

機器番号	機器名称	形式	吐出量 (L/h) (m³/h)	吐出圧力 (MPa)	使用肉厚 (mm)	必要肉厚 (mm)	流体名	圧力(MPa)		温度(°C)		高圧ガス・ガス設備の区分	※2備考	設置年月	摘要
								設計	常用	設計	常用				

※2 高圧ガス保安協会で受検する場合は「KHK受検」、大臣認定品の場合は「大臣認定品」と記載する。

(配管リスト)

ライン番号 又は 配管クラス	呼び径 (A) (B)	材質	外径 (mm)	スケジュール番号	呼び厚さ (mm)	最小必要肉厚(mm)	流体名	圧力(MPa)		温度(°C)		管の許容引張応力	溶接効率	計算式 ※3	認定の有無 ※4
								設計	常用	設計	常用				

※3 配管の肉厚の算定は、次の式による。

(1) 内径に対する外径の比が1.5以下のもの ( $P \leq \sigma_a \eta / 2.6$ )

$$t = \frac{PD_0}{2\sigma_a \eta + 0.8P}$$

t : 配管又は導管の最小厚さ(mm)

D<sub>0</sub> : 配管又は導管の外径(mm)

P : 設計圧力 (単位 MPa)

(2) 内径に対する外径の比が1.5を超えるもの ( $P > \sigma_a \eta / 2.6$ )

$\sigma_a$  : 特定則第14条に規定する材料の許容引張応力 (単位 N/m²)

$\eta$  : 特定則第19条に規定する溶接効率。ただし、電気抵抗溶接管等で許容引張応力の値にあらかじめ溶接効率が乗じられている場合は、1とする。

$$t = \frac{D_0}{2} \left( 1 - \sqrt{\frac{\sigma_a \eta - P}{\sigma_a \eta + P}} \right)$$

※4 大臣認定品の場合は「有」、大臣認定品でない場合は「無」と記載する。

## (一般弁リスト)

弁の種類	弁番号	呼び径 (A)(B)	材質		流体名	圧力(MPa)		温度 (°C)		個数	認定の有無 ※4	メーカー名	図面番号 ※5
			ボディ	弁体		設計	常用	設計	常用				

※5 図面番号は大臣認定品以外のもののみ記載する。

## (緊急遮断弁・調整弁)

弁の種類	弁番号	呼び径 (A)(B)	材質		流体名	圧力(MPa)		温度 (°C)		個数	認定の有無 ※4	メーカー名	図面番号 ※5
			ボディ	弁体		設計	常用	設計	常用				

## (安全弁、逃し弁、破裂板)

弁番号	安全弁等 の種類	口径 (入口/出 口)	材質		流体名	圧力(MPa)		温度 (°C)		リフト量	安全弁の タイプ	設定圧力 (MPa)	規定 吹出量 (kg/h)	所要 吹出量 (kg/h)	取付 箇所	噴出ガス の放出先	認定の 有無 ※4	メーカー名	図面番号 ※5
			ボディ	弁体		設計	常用	設計	常用										

## (圧力計)

圧力計番号	圧力計の種類	取付箇所	常用圧力 (MPa)	測定範囲 (MPa)

## (温度計)

温度計番号	温度計の種類	取付箇所	常用温度 (°C)	測定範囲 (°C)

## (液面計)

液面計番号	液面計の種類	取付箇所